

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 いいものMekke
- P5 青年部・女性部だより
- P6 Information 商工会だより
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ きなくひと しょうこうにん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

2018.9.1
Vol. 382



P2に掲載

遊休資産の積極的活用
子育て世代向け新サービスの提供
桑折町・美容室Chocolat



P3に掲載

山村社会に革命を
三島町・SAMPSON株式会社

元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

会津地区

三島町商工会



山村社会に革命を

SAMPSON 株式会社

代表取締役 菅家 三吉氏
代表取締役 佐藤 彩乃氏

住所 〒969-7511
福島県大沼郡三島町宮下居平12番地
連絡先 TEL/FAX 0241-42-7242
営業時間 11:00~18:00(夜間営業要予約)
定休日 毎週木曜日



【人とものが集まる場所】

平成30年4月、「食事サポート」と「暮らしの困りごとサポート」を中心事業として、三島町に人とものの拠点「SampSon」がオープンしました。現在、食事サポートとして、お年寄り世帯や忙しい共働き世帯、単身者向けに、手作りのお惣菜を販売しています。また、ランチ営業では町特産の会津地鶏を使ったお料理をお召し上がりいただけます。特に、地鶏の塩白湯ラーメンは人気メニューで、毎日限定20食の提供です。暮らしサポート事業では、外出が難しい世帯のお買い物支援として町内全地区を回る移動販売を行っております。また、店舗の2階に移住希望者向けの空き家相談窓口をIORI倶楽部と連携して設置しております。

【青年部の熱意からスタート】

平成26年、少子高齢化が進む三島町の商業や住民の暮らしを元気づけようと、商工会青年部員を中心とした有志が委員会を立ち上げました。それぞれの仕事が終わった夜に商工会館に集まって意見を交わし、まちづくりの先進地域として有名な隠岐島・海士町の視察で大きな刺激を受け、買い物弱者支援として大手スーパーとの連携を模索したり、空き店舗を利用した夕市を開催したりと試行錯誤を続けました。この委員会が母体となって生まれた会社が「SAMPSON株式会社」です。青年部からは中心メンバーの菅家三吉が、地域おこし協力隊として委員会活動に取り組んできた佐藤彩乃がともに代表取締役に就任しました。開店に向けてクラウドファンディングで支援を募り、多くの皆様の応援を受けたスタートでした。

【自分が暮らしたい町に、自分たちで。】



SampSonにあればものが揃う、情報もそろそろ、困りごとが相談できる。お店まで来られないお年寄りには移動販売を通してこちらから会いに行きます。三島町の皆さんの生活をトータルでサポートすることが私たちの一番の目的です。この一環として現在、提供メニューを充実させようと早戸温泉の温泉水から採った塩をスープに使った「つるの湯ラーメン」を開発中であり、現在実施の移動販売を通し、暮らしの中のちょっとした困りごとを御用聞きとして、例えば電球の付け替えができないお年寄りや、外出が難しい世帯のお買い物支援などを町内の商店などと連携しながら取り組んでいます。また、町内の地域資源を活用し、アウトドア用品の販売/貸し出し/キャンプイベントの開催等のアウトドア・レジャー事業を展開していきたいと思っています。

「山村社会に革命を」。不便な地方での生活を嘆くばかりでなく、住民一人ひとりが「三島町は良いところ」と自分の町に誇りを持ち、みんなの笑顔をこれからもずっと守りたい。そのために、現在ある暮らしやコミュニティーの課題に真摯に向き合い、「暮らしやすい」「面白い」町づくりを率先して行っています。



県北地区

桑折町商工会



遊休資産の積極的活用 子育て世代向け 新サービスの提供

美容室 Chocolat
代表 佐藤 惇氏

住所 〒969-1651
福島県伊達郡桑折町大字谷地字下割付3-1
連絡先 TEL 024-597-6373
営業時間 9:00~19:00
定休日 月曜日、第1火曜日、第3日曜日

【事業所紹介】

平成26年2月に福島市で働いていた代表が、地元桑折町の空き店舗を活用して独立開業しました。町中心部から少し外れた国道4号線沿いに立地し、広い駐車場を完備していることから遠方から来るお客様に対しても利便性が高い店舗です。経営は、代表とその奥様、二人で切り盛りしており、お店のコンセプトとなる“温もりを感じられるアットホームなお店”を目指し、店内の雰囲気作りや接客対応にコンセプトを活かした営業をしています。特に、同世代となる30代子育て世代の方々や働く女性など、時間に縛られる女性に多く利用してほしいと、店内にはキッズスペースを設置。安心して来店できる空間を提供しています。また、天然成分を主とするオーガニック材料を利用した施術にこだわり、髪にも心にも優しい、安心できるサービスを提供しています。



また、天然成分を主とするオーガニック材料を利用した施術にこだわり、髪にも心にも優しい、安心できるサービスを提供しています。

また、天然成分を主とするオーガニック材料を利用した施術にこだわり、髪にも心にも優しい、安心できるサービスを提供しています。

また、天然成分を主とするオーガニック材料を利用した施術にこだわり、髪にも心にも優しい、安心できるサービスを提供しています。

【商工会支援内容】

代表と経営指導員との会話から、創業当初想定していた顧客層と実際の顧客層とのギャップが問題として挙がりました。経営は決して悪くなく順調でしたが、地域性もあってか高齢のお客様が多く、創業してまだ3年、30代の経営者が将来の経営を考えたときの不安材料となっていたからです。

どうしたら望むお客様に来店していただけるか、様々な角度から一緒に考えることにしました。

せっかくのキッズスペースも遊休資産化していることに目を付け、その利用を一緒に考えた結果、育児をするお母さん達に安心して来店してもらうための「店内貸切サービス」を新たに設けることにしました。

子どもたちが自由に遊べる空間とお母さん達がリラックスできる時間の確保に需要があると分析し、サービスのセット化による顧客単価アップも見込みながら販路開拓事業として支援を開始しました。



それらを事業化するにあたって、年1回配布していた販売促進チラシを戦略化したものに一新し、新サービスとお店のこだわりを全面的に発信するPR計画を提案。代表の思いも重なり、事業計画策定に至りました。

きちんとお店の情報を発信できないと、お客様も来店しません。地域を知る地元デザイン会社へ協力を要請し、内容はもちろんのこと、ターゲットから設置場所も想定して、一過性のチラシにならないよう形状を工夫。手に取りやすく、スペースを取らない、様々な箇所に長期間設置しても違和感が無いよう施しました。

また、ソフト面では、持続化補助金の利用支援、商圈分析、事業実行後の顧客調査とその集計、分析など、ハンズオンサポートを展開。結果として想定していたお客様に多く来店され、新規顧客獲得に繋げることができました。

【更なる事業プラン策定と実行へ】

来店して欲しいお客様へ継続してアプローチするため、自発的に新たな事業への取り組みも始めています。お店のこだわりでもある「オーガニック」材料を使用したジェルネイルを奥様が東京へ通い習得し、県内では初となる体に有害な物質を極力抑えたオーガニックジェルネイルが可能になりました。

子どもと接する時間が長いお母さんにとって、安心してネイルが楽しめます。

それに加え、一度に色々なサービスを提供できるようになり、時間に縛られるお母さんから求められるサービスを提供できるようになりました。

「経営を考えることで、今までの“受け身”の事業から“アプローチ”する事業へ転換できました。これからの経営にとっても役立つ」と代表は話しています。

こだわりを持ってお客様に喜ばれるサービスを提供し、地域の特徴を活かしながら地域に根付くお店作りを目標として今後も経営していくとのことです。



青年部 だより

最優秀賞に武藤隆弘さん(きたかた) ～青年部トップセミナーの開催～

平成30年7月10日「平成30年度商工会青年部トップセミナー」が福島市「福島テルサ」で開催されました。

県内6ブロックの代表者が常日頃、青年部活動において抱えている想いを発表する主張発表福島県大会では、「未来への種まきプロジェクト」と題し発表しました。会津地区代表の武藤隆弘さん(きたかた)が栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝きました。武藤隆弘さんは8月29日に盛岡市で開催される「平成30年度東北六県・北海道ブロック主張発表大会」に福島県代表として出場することが決定しました。



最優秀賞：武藤隆弘さん(きたかた)

また、主張発表者に対する応援として、地区ごとにユニークな応援合戦が行われ、今年度は県北地区が優勝地区に選ばれました。

大会終了後には、「商工会を取り巻く環境について」を演題に、全国商工会連合会 組織運営部長 青山淳氏による講話をいただきました。人口減少時代を迎える日本経済の状況や国の施策の紹介など、今後事業を行ううえで大切な情報を得ることができました。



各ブロックの主張発表者

女性部 だより

東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会 「地域の魅力！ 笑顔で発信！」



福島県代表：根本みね子さん(久之浜町)

第18回東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会は、平成30年7月11日に札幌市「京王プラザホテル札幌」にて開催され約650名の出席者が参加し、福島県からは24名の県女性連役員・発表者等が出席しました。大会では本県から、久之浜町商工会女性部副部長の根本みね子さんが「女性部活動と地域振興・まちづくり」～震災後の女性部活動「輝こう!!キラリ久之浜」～をテーマに発表しました。

残念ながら全国大会出場とはなりませんでしたが、審査員の評価も高く今後の事業展開が大変気になるとのお言葉をいただく素晴らしい発表内容でした。

翌日には、東北六県・北海道商工会女性部連合会の会長会議が開催され、平成30年度全女性連まち(地域)づくり顕彰のブロック代表に北海道「白老町商工会女性部」と岩手県「雫石商工会女性部」が選ばれました。

次回の東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会の開催地は福島となります。

開催日は2019年7月2日(火)～3日(水)で場所は福島市の穴原温泉「吉川屋」を予定しています。来年度開催に向けて県女性連一丸となって頑張っていきます。



来年度開催に向けて挨拶をする二瓶恵美子会長

いいもの Mekke

事業所名

平成30年7月14日オープン

湯のまちいいざかグラノーラ工房

〒960-0201 福島市飯坂町字笠松11 電話 024-572-7577

<https://www.onsen-granola.com/>

(当面)土、日曜日と祝日のみの営業で、時間午前10時～午後4時
商品取扱店: oncafe、栄楽茶寮、祭屋湯左衛門、青葉旅館、旅館湯乃家



地元の農・商・工(農家×カフェ×旅館×製菓×建設)が連携して、互いの強みを持ち寄って、新しい飯坂温泉の特産品を作ります。

飯坂温泉グラノーラ

～福島の美味しい果物をもっと身近に手軽に～

○オープンのきっかけ



工房責任者(高橋健氏)前列右から2人目

地元高校を卒業後、実家を離れて北海道の大学へ進学し、卒業後はそのまま北海道の企業に就職しました。故郷の飯坂町へ帰省するたび、街の活気が失われつつあるのを感じたのがきっかけで、仕事をしながらカフェの専門学校で学び、35歳でUターンを果たしました。そして、実家が営んでいる温泉旅館内にカフェを開業させて、メニューには、地元産の果物にこだわったパフェを考え、友人・知人の協力をいただき、地元の果樹農家を訪れたとき、出荷基準に満たない規格外の果物が数多くあることと、出荷される規格品

の商品ながら東京電力第一原発事故による深刻な風評被害で、故郷の果物だけが安く売られている果樹農家の厳しい生産現場を目の当たりにしました。そこで、自身ができることとして、まず摘果作業で取った未熟な桃をパフェに用いました。味・果肉は規格品の桃と全く見劣りせず、カフェの人気メニューとなりました。果樹農家を応援したい気持ちだったが、予想以上の反応を受けたのがきっかけで、「地元の素材を使った商品を作れば、人を呼べるかもしれない。街が活気づくかもしれない。」と考えました。そこで、皮をむくのが面倒、手が汚れるなどで果物を食べない人のために、いつでも身近に、手軽に果物を食べていただくために、果物を乾燥させることに着目し「グラノーラ」の商品開発の事業計画を作成しました。実現に向けて地元の建設会社に事業計画のプレゼンを行ったところ快諾をいただき、会社内に6次化商品企画室の創設のかたちで、街の一角に工房を兼ねた直売店をオープンすることとなりました。

○飯坂温泉グラノーラ

自家製シロップをかけて焼き上げたオーツ麦とナッツに、低乾燥した無添加のドライフルーツ(サクランボや桃など旬の果物を使い、地元飯坂町を中心に市内の農家から仕入れ、規格外品を適正価格で購入し、果樹農家の活性化効果に繋がたい。)を加えて仕上げております。全て手づくりで、味はプレーン、抹茶、紅茶の3種類となります。

試行錯誤しながら進めていたところ、地元商工会からの専門家派遣事業支援を受けて、中小企業診断士専門家から、商品(グラノーラ)販売強化についてのアドバイスをいただき、直ちにできる改善を図り、オープンを迎えられたことに感謝しております。



抹茶 150g 850円 紅茶 50g 350円 プレーン

○飯坂電車に乗って街歩きのおススメ

飯坂町へお越しの際は、是非飯坂電車に乗って街歩きをおススメいたします。飯坂電車に乗り、飯坂温泉駅を降りると、正面に飯坂温泉観光協会があります。観光協会内には、温泉街を網羅したガイドマップ、各施設のパンフレットが豊富にあります。ガイドブックを片手に、「食」「温泉」「自然」が満喫できます。その一角に当店がありますので、お立ち寄り願いたいと思います。

震災からの復興・再生を目指して

東日本大震災及び原発事故から七年が経過しましたが、未だに住み慣れた古里を離れ全国各地で避難生活を余儀なくされている富岡町民が多数おります。平成二十九年四月一日に帰還困難区域を除き避難指示が解除されたものの、平成三十年七月現在町内居住者は約五%に止まっております。当商工会員の事業再開率は六十・七%となりましたが、富岡町再開率は十六・八%であ

①富岡町商工会及び会員の現状

富岡町商工会長の黒田陽一です。西田町は、郡山市の東部に位置し三春町、本宮市に隣接した場所にあります。三春張子・三春駒でお馴染みの「高柴デコ屋敷」や室町時代の画像雪村ゆかりの「雪村庵」で知られています。また、西田町は「梅の里」ともいわれ、春には至る所で梅花が咲き誇り、特に「梅ロード」から眺める安達太良山の姿はカメラマンでなくとも思わず写真を撮りたくなるほどの景色が広がります。そんな豊かな自然と伝統文化が息づく長閑な里山の町が西田町です。



富岡町商工会長の遠藤一善です。富岡町は、福島県浜通り地方の中央に位置し、東側の太平洋と西側の阿武隈山地との間に広がる町です。町を二分して太平洋に注ぐ富岡川や阿武隈山地を流れる滝川深谷、落葉広葉樹を中心とした自然林が広がる大倉山などの山々、磯釣りメツカ仏浜、断崖絶壁の海岸線等々、山海の自然に恵まれた温暖な地域です。震災以前、春には約二十キロ続く桜のトンネルの下で夜の森さくら祭りが開催され、約三十万人の観光客が訪れておりました。



平成 29 年 4 月 さくら祭り 桜のトンネルの下でのよさこいおどり

り、地域コミュニティを生業としていた商業とサービスの事業再開が困難な状況にあります。また、避難生活の長期化で事業再開を断念する会員も増加傾向にあります。会員事業所については、福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金や津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金・町事業再開支援事業補助金等の復興支援施策を活用することで、六十三社が町内で事業再開を果たしました。県商工会連合会と連携を密にし、経営発達支援計画に基づきながら事業再開や経営力向上支援をしています。また、会員懇談会を開催し国等との意見交換を積極的に展開しています。

③商工会館建設

平成二十三年六月からいわき市平に事務所を賃貸し、会員の事業



平成 30 年 7 月 プレミアム商品券発売 特設会場にて販売の様子

富岡町プレミアム商品券発行事業に取得組んでおります。また、再開事業者支援になるように町内再開事業所マップを作成しております。

②富岡町プレミアム商品券発行事業

平成二十九年より富岡町の委託事業として、町内での消費喚起を促しながら地域経済の活性化を図り、商業再生と地域コミュニティ再生に寄与することを目的とした富岡町プレミアム商品券発行事業に



富岡町商工会 富岡事務所 (さくらモールとみおか内)

再開支援に当たってきましたが、平成三十年六月に富岡町より賃貸し、さくらモールとみおか内で富岡事務所を本格的に再開いたしました。会員事業所においても富岡町内での事業再開の増加、行政機関の業務再開、そして帰還町民が徐々に増加していることから、会員事業所への更なる経営支援の強化、富岡町内の復興加速化、地域総合復興事業の推進によるコミュニティ再生を目指し、富岡町と連携を密にした町づくり推進の為に旧商工会館跡地に商工会館の再建を進めています。

地域資源を発掘し・磨き上げ・繋げることで地域活性化をめざす。



梅ロード

西田町商工会長の黒田陽一です。西田町は、郡山市の東部に位置し三春町、本宮市に隣接した場所にあります。三春張子・三春駒でお馴染みの「高柴デコ屋敷」や室町時代の画像雪村ゆかりの「雪村庵」で知られています。また、西田町は「梅の里」ともいわれ、春には至る所で梅花が咲き誇り、特に「梅ロード」から眺める安達太良山の姿はカメラマンでなくとも思わず写真を撮りたくなるほどの景色が広がります。そんな豊かな自然と伝統文化が息づく長閑な里山の町が西田町です。

観光振興事業の推進



先進地視察 (岐阜方面)

江戸時代から続く高柴デコ屋敷は、四軒の張子職人の工房と二軒の飲食店で構成されます。経済都市である郡山市の中でデコ屋敷は数少ない観光地です。毎年、五月下旬には「高柴デコまつり」が開催され、郡山市指定重要無形民俗文化財である「高柴七福神踊り」や「ひょうこ踊り」などの郷土芸能を披露し、町内外から訪れる観光客を楽しませています。最近では福島県の補助事業として、デザイナー・コシノジュンコ氏の「コラ」が商品を開発するなど、伝統にとらわれない、新たな活動にも取り組み注目を浴びています。しかし、東日本大震災以降、観光客数は減少の一途を辿っており、この状況を打開するべく、デコ屋敷を中心に西田町全体を活性化することを目標に据えて、昨年度は全国商工会連合会の「全国展開支援事業」を実施し、行政をはじめ専門家、旅行会社との連携を図りながら調査研究事業を行いました。

地域振興事業のつぎへ

「地域振興」は一部の人間だけではなく、町全体で取り組むべきテーマ



西田商工まつり

グループワークを中心に進められ、地域資源を挙げ、その地域資源の町内評価と町外評価を点数化し比較。この結果、「西田町には何も無い」と考えていた町内の参加者は驚きました。自分達があたり前のように感じていた事が、町外の人間にとっては非常に魅力度の高い地域資源だと評価されていたからです。自分達があたり前に食べている物、見ている風景、行っている体験が、実は人を惹きつける力があるかもしれないということに参加者全員が理解できたことは、大切なプロセスだったと思います。

この事業により、地域や世代、職業の垣根を越えて、様々な方々と時間を共有できたことは大きな財産となりました。協働体制の輪を広げながら、地域資源を発掘し、磨きあげ、繋げることで、町に一人でも多くの観光客が訪れる仕組みを構築していきたいと考えております。

抽選会も行われ、町民相互の親睦を深める良い機会を創出しています。

西田ピアガーデン

2019年
10月スタート!

軽減税率制度実施までに やっておきたいこと

2016年4月

<補助金受付開始>

ポイント1 軽減税率制度に関する情報収集

- 商工会、商工会議所等が開催するセミナーなどに参加



ポイント2 新たに発生する仕事の洗い出し

- 取り扱う商品の適用税率の確認など
 - ・ 贈答用の飲食料品、社内で供する茶菓などに注意
 - ・ 自社のサービスが「外食」に当たるか確認

ポイント3 レジやシステムの確認

- 取引先の対応を確認・調整
- 補助制度の利用の検討
 - ・ レジが複数税率に対応しているかどうかをメーカーや販売店に確認
 - ・ 受発注システムの改修・入替の場合、交付決定がされる前に作業着手したものは補助対象にならないので注意



ポイント4 社内体制の整備

- お客様対応の見直し、従業員研修、適用税率ごとに区分した経理への対応
- 値札・POPの準備、商品カタログの改訂など



2019年
6月28日

電子的受発注システム改修等に対する補助金の交付申請受付期限（交付決定後に改修に着手）

2019年
9月30日

レジ導入等、電子的受発注システム改修等の完了期限

2019年
10月1日

軽減税率制度スタート!

2019年
12月16日

レジ導入等に対する補助金の申請受付期限
電子的受発注システム改修等に対する事業完了報告期限